

令和6年度 事業報告

令和6年度は、最低賃金の改定率が平成3年以来の高水準になるなどようやく経済活動にも明るい兆しが戻ってきたと感じられる一方、米価や野菜の値段の高騰が止まらず、全体としては厳しい1年であったと言える年でした。「特定受託事業者に係る取引の適正化等に関する法律」、いわゆる「フリーランス法」が令和6年11月に施行され、シルバー人材センターとしてもフリーランス法に基づく包括的契約の実施に向けた対応を迫られるなど、センターを取り巻く環境は以前にも増して厳しいものと言わざるを得ない状況でありました。

こうした中、令和6年度の重要課題である安全就業の徹底に向けた取り組みとして、令和5年度に実施した事故事例DVDの観賞に引き続き、7年ぶりに安全パトロールを復活させるなど、安全就業に対する会員の意識向上につながる取り組みを実施しました。また、会員拡大に向けた取り組みを進め、80名の新規入会者がありましたが、退会者が130名あったことで、年度末時点の会員数は826名（男性540名、女性286名）となり、前年度末に比べて50名の減少となりました。

契約実績では、請負部門352,499,735円（前年度比4.8%減）、派遣部門132,178,455円（前年度比2.7%増）で、全体では14,384,706円の減（前年度比2.9%減）となり、大幅に実績が落ち込む結果となってしまいました。また、月間平均就業実人員は、請負部門512名、派遣部門119名、全体では631名となり、就業率*は71.2%で前年度並みを確保することができました。

*各月の実就業会員数の平均値と会員数の平均値に対する割合

以下、令和6年度の事業概要について報告します。

1. 就業開拓提供事業の実施

就業機会の拡大に向け、以下の事業を実施しました。

- ①就業機会開拓推進員が市内事業所、自治会、公共施設等を訪問し、就業機会の開拓・拡大に取り組みました。（契約件数：請負1,937件・派遣：163件）
- ②空家・空地の管理事業や高齢者家庭をはじめ一般家庭へのサポートサービスを全市にPRし事業拡大に努めました。（契約件数：1件）
毎月「就業情報」を発行し、就業機会の提供を行いました。（385号～396号）
- ③ワークシェアリング、ローテーション就業の推進に努めました。
- ④発注者のニーズにより請負・委任事業、職業紹介事業、労働者派遣事業など多様な就業形態を提案し、就業機会の拡大に努めました。

2. 普及啓発事業の実施

センターの活動内容・事業趣旨等を幅広く理解していただき、会員の拡大に繋げるため、以下の事業を実施しました。

- ①リーフレット、パンフレット、会報「シルバー羽曳野」、ホームページ、市広報紙等を活用しPRを実施しました。
- ②全部会によるチラシ配布や広報活動等を行い会員拡大に努めました。
- ③10月の普及啓発促進月間中に「シルバーの日」を設け、市主催のボランティア活

動やイベントに参加・協賛し、PRを実施しました。

- ④友人や近所の方に入会を呼びかける「1会員1紹介運動」を実施しました。
- ⑤会報「シルバー羽曳野」への投稿を会員以外にも依頼するとともに、市内公共施設16か所に配架するなど、市民にセンターを理解していただけるよう努めました。
(年2回発行、市内公共施設16か所に配置)
- ⑥入会説明会を毎月2回開催した他、公共施設で臨時入会説明会を開催しました。
(年32回開催・参加者183人・80人入会)
- ⑦『LIC de フリマハロウィン』にてバザーを出店し、会場でシルバー入会チラシを配布しPR活動に努めました。
(売上金50,580円 ※売上金は社会福祉協議会に全額寄付)

3. 独自事業の実施

センター独自の事業を実施し、就業機会の提供に努めました。

- ①自転車リサイクル事業として廃棄自転車のリサイクル販売、自転車修理店の運営を実施しました。
- ②剪定枝チップから腐葉土を製造・販売する腐葉土販売事業を実施しました。
(販売実績：腐葉土200 1,398本・腐葉土100 45本)
- ③シルバー農園を運営し、野菜の栽培・販売を行う農園事業を実施しました。
- ④貸農園を提供し会員や市民の方に利用してもらうことで相互の交流を図り、事業拡大に繋がるよう貸農園事業を実施しました。
(ビニールハウス2棟1人74区画34人)

4. 研修・講習会事業の実施

会員の技能向上や安全就業に資するため、また会員の知識向上のため、以下の研修や講習会を実施しました。

- ①研修や技能講習等による会員の技能及び知識の向上に努めました。
- ②新入会員及び学校関係就業会員を対象にハラスメント・人権研修を開催し、マネー及び知識の向上に努めました。(38回開講・受講者192人)
- ③スマートフォン活用講座を開催し、ドコモの派遣講師によるLINEの使い方やインターネットの見方などを習得されるように努めました。(6回開講・56人参加)
- ④終活セミナーを開催し、税理士による終活に向けた情報や知識を取得されるよう努めました。(2回開講・15人参加)

5. 調査研究事業について

- ①事業の拡充や円滑な運営を図るため、必要に応じ調査研究を行いました。
- ②部会間で事業の調査をするため、全部会会議を2回開催し調査研究を行いました。

6. 相談事業について

未就業を理由とした退会を抑制するため、以下の取り組みを進めました。

- ①毎月2回未就業者相談を実施し、就業機会の提供に努めました。
(年24回・58人相談)
- ②女性会員の職域拡大のため、女性就業拡大推進員による女性のつどいの開催や就業相談等を実施しました。(2回開催・62人参加)

7. 安全・適正就業推進事業について

就業中の事故予防及び安全就業への意識向上を推進するため、以下の取り組みを実施しました。

- ①大阪府下で就業中の死亡事故が2件発生したことを受け、安全委員会による安全パトロールを実施しました。
- ②就業会員に「市特定健康診査」、「後期高齢者健康診査」の受診を呼びかけ、会員自ら健康に対する意識を涵養してもらうよう啓発を行いました。また受診結果の提出状況を「事務局だより」に掲載し、一人でも多くの会員に健康診査を受診してもらうよう啓発を行いました。(697人提出・提出率84.4%)
- ③自転車利用時の注意及び途上事故防止を呼びかけるとともに、自転車保険への加入についての啓発を実施しました。
- ④就業器具の自主点検、安全保護具の着用、自らの就業状態についての点検を呼びかけ、安全就業に対する自覚を促しました。
- ⑤安全標語を募り、「事務局だより」に掲載し安全就業を呼びかけました。
(7人27首応募、12首選考)
- ⑥安全委員会を定期的に開催し、安全対策について検討しました。
- ⑦就業会員に対して、「安全就業ハンドブック」の携帯を呼びかけました。
- ⑧植木剪定就業会員・除草就業会員を対象に就業中のヘルメット着用を義務化しました。
- ⑨会員の肺がん・結核の検診を藤井寺市シルバー人材センターと合同で実施しました。(10月11日実施・受診者8人)

8. 職業紹介事業について

- ①法に基づく有料職業紹介事業を行い、臨時的・短期的な就職を斡旋しました。

9. 労働者派遣事業について

- ①適正就業の推進等必要に応じ、臨時的・短期的な労働者派遣事業を実施しました。
- ②労働者派遣事業での就業機会の拡大に努めました。
(派遣事業における入職時講習21人、キャリアアップ講習61人)

10. 自主運営体制の充実及び就業体制の強化について

- ①担当部会を開催し各部門の事業について検討しました。
- ②全部会会議を開催し部会間の連携を密にし、効率的な活動を行いました。
- ③近隣センターとの連携や調整を図り、広域的な就業機会の開拓・情報収集に努めました。
- ④会員の自主・自立的な就業・接遇・マナーなど、質の向上を目指しました。
- ⑤全シ協・近シ協・大シ協・中部シ協の各協議会と連絡調整を行い、各研修会等に参加し相互研鑽に努めました。
- ⑥他のシルバー人材センターにおける先進的な取り組みの情報を得る等して事業の拡充に努めました。

※参考資料

- ①令和6年度請負事業実績状況(別表1参照)
- ②年度別契約金額、会員数、就業実人員の推移(別表2参照)
- ③令和6年度一般労働者派遣事業実績状況(別表3参照)
- ④令和6年度年齢別・性別・就業希望職群別会員の状況(別表4参照)